土門拳記念館

学芸員ギャラリートーク

貴重な話が聞ける土門拳記念館学芸員によるほぼ月イチギャラリートーク！
今年度も残すところあと2回！2月・3月の開催日をお知らせいたします！

≪日時≫　2025年
①2月15日（土）｜14:00～
②3月15日（土）｜14:00～

≪内容≫　①土門拳を未来へ ー写真アーカイブの試みー
②民俗を写す　ーハレとケのあいだー

≪定員≫　各日先着15名（要予約）

≪参加費≫　無料（入館料のみ必要）

≪申込方法≫　土門拳記念館へ電話申込（0234-31-0028）
または、記念館窓口で直接申込

担当学芸員
王憶冰
のお気に入りの古墳時代後期の農夫の埴輪

①約135,000点の写真原版を収蔵している記念館。15年前、フィルムの劣化問題が初めて顕在化しました。これからの保存について、その裏話をお話します。

②リアリズムは民俗学から？ハレとケの世界、特に30歳の土門が新婚旅行を兼ねて宮崎県で撮影した写真群はあまり知られていません。また、第2回土門拳賞受賞作品である、内藤正敏氏の『出羽三山と修験』は一度見たら忘れられない作品です。

≪Profile≫
中国生まれ。東京藝術大学 大学院美術研究科博士後期課程修了。
冬になったら、あんこう鍋。でも最近は寒鱈汁のほうがさらに好きになりました。スキーは湯殿山へ行っています。

お問い合わせ・お申込み

土門拳記念館

山形県酒田市飯森山2-13
☎0234-31-0028
✉info@domonken-kinenkan.jp